

SBDL リーグ編成について

～ リーグ編成の流れと考え方およびリーグ戦成績の影響 ～

1 リーグ編成の流れと考え方

- (1) リーグ編成は、全チームエントリー終了後、U15カテゴリー部会によって決定される
 - A 本リーグ戦事業では、上位リーグに在籍する組織（指導者・選手・関係スタッフ）は、コート上でもコート外においても、その立ち居振る舞いについて全県の見本となる存在であることが求められる。これは、2018年リーグ戦事業発足当初より大切にしている理念である。
 - B 県内のすべてのチームから愛され応援されるチームが、上位リーグに所属する権利を有する。
 - C リーグ運営において、他チームとのトラブルや関係者からの非難が相次ぐようなことがある場合は、上位リーグに在籍する権利は有さない。
 - D この理念は、現在と未来の選手のために固く貫かれるべきものであり、決して揺るがない。たとえ競技結果が優秀であっても、本リーグ事業における所属リーグ編成においては、競技結果はあくまでも第5段階の参考資料である。
- (2) L（地域）リーグにおいては、参加チーム数や前回リーグの実情など様々な事情を考慮し、グループリーグに聞き取りを行いながら、実態に合わせて柔軟に編成を行う（別地域リーグへの移動の相談・グループ合同開催など）
- (3) P（県）リーグ1部・2部におけるリーグ編成は、以下の順で参考資料を取り扱う（2018年リーグ戦事業発足当初より大切にしている理念）
 - A 組織（指導者・選手・関係スタッフ）は、コート上でもコート外においても、その立ち居振る舞いについて全県の見本となる存在であるか（県内チームから尊敬され、愛され、応援されるチームであるといえるか）
 - B 組織（指導者・選手・スタッフ等）は、リーグ戦事業の運営においてコート内外においてトラブルがあったり、県内のバスケットボールファミリーから非難されるような言動があったりする等、他者に嫌な思いをさせたりするようなインテグリティを欠く言動はないか、暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守できているか
 - a) 行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受取等が含まれる。また、特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応できないことがあること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。
 - b) 指導者だけでなく選手や保護者を含めチーム全体にインテグリティの重要性を指導できる組織体制を構築できているかは、競技力だけでなく育成世代の子どもを預かるスポーツ環境整備において非常に重要な点
 - C 長期育成型の組織であるか（3年以上の持続した活動を目安とする。移籍によってその年に有望選手を集めたチームなどは長期育成ではない）
 - D 選手をよりよく育成するための環境を構築する組織力があるか。指導者のライセンス保有、ルールを遵守できる選手育成のための帯同審判員保有、チーム内の指導者数と選手数の比率、安定した練習会場の確保状況、AEDや氷など安全な練習環境の確保状況、など。これまで中学校組織が主体であった本県では、安心・安全な環境が確保され、チェック体制も十分であった。今後、クラブチームが増えていく上で、こういった安心・安全な環境を確保しているチームが当たり前になっていくこと、そういうチームが上位リーグに在籍することが求められる。
（JBA全国U15選手権でも本項目に該当する推薦枠が設置されており本県からJBAによる推薦チームとして全国大会へ出場した事もある）
 - E ④までで協議した結果、優劣がつかない場合、前回リーグ成績を参考資料とする

2 リーグ戦成績の影響について

(1) Lリーグの成績

- A 表彰をもって完結し、その後の競技会に直接的に影響を与えることはない
- B ただし、チームが上位リーグへの所属を希望した場合、当該チームの成績は、編成の参考資料とする

(2) Pリーグの成績

- A 2022 U15Autumn round (2022年9月開催) の成績は、
2023 U14Winter round (2022年1月開催) 所属リーグ編成の参考資料となる
- B 2023 U14Winter round (2023年1月開催) の成績は、
2023 U15Autumn round (2023年9月開催) 所属リーグ編成の参考資料となる
- C 昇格・降格については、「21リーグ編成について」に記載の通り、成績は第5段階目の参考資料であることを前提とし、以下の通り確認する
 - a) 成績以前に降格の対象となる事案がある場合これを優先するため、昇格および降格については全てのチームが対象となる
 - b) 成績以外にリーグ編成にあたって参考資料がない場合、以下の通りとする
 - (1) 1部の下位2チームは降格の対象となる
 - (2) 2部の上位1チームは昇格の対象となる
 - (3) 2部の下位2チームは降格の対象となる
 - (4) 3部の上位1チームは昇格の対象となる
- D 所属リーグ編成は、「21所属リーグ編成について(1)」のとおり、全チームがリーグ戦エントリー終了後、U15カテゴリー部会によって決定される。よって、リーグ戦終了(順位決定)後に自動的にリーグ編成が決まることはない
- E U14Autumn roundからU15Winter roundの間は、入れ替え戦を実施する
 - a) 以下、 $\alpha \cdot \beta$ および $W \cdot X \cdot Y \cdot Z$ はU15部会責任抽選で決定する
 - (1) 2部A1位チームvs1部下位チーム「 α 」
 - (2) 2部B1位チームvs1部下位チーム「 β 」
 - (3) 3部A1位チームvs2部A下位チーム「 W 」
 - (4) 3部B1位チームvs2部A下位チーム「 X 」
 - (5) 3部C1位チームvs2部B下位チーム「 Y 」
 - (6) 3部D1位チームvs2部B下位チーム「 Z 」
 - b) 入れ替え戦実施時期については、U14リーグ戦要綱にて展開する
- F U15Autumn roundからU14Winter roundの間は、入れ替え戦を実施しない
- G U14Winter roundの成績および⑤の入れ替え戦の成績を、トップトーナメント(U15春季大会)のシード権に反映させる。ただし、あくまでも権利を有するのであって、決定ではない。リーグ戦編成時と同様の手順で、成績以外の面で権利を反映させるに値しないとU15マネジメント部会が判断する場合がある。